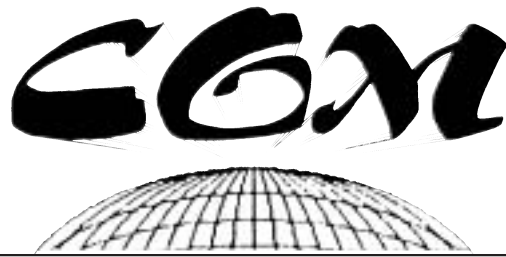


Iwakura
International
Exchange
Society



岩倉市国際交流協会

第54号

2007年5月1日

みんな、同じ、生きているから



ピナトゥボ
活動助成事業
で、1か月間
フィリピンを
訪れていた千
村友輝さんが
帰国しました。
報告を寄せ
ていただきましたので紹介
します。

平成19年2月25日～3月25日、フィリピンのグタの町にホームステイし、現地の公立と私立の二つの高校で、日本の文化や言語を伝えるレクチャーをしてきた。日常生活で当たり前のように取り囲まれている事物が、違う国の違う環境に身を置くことで、実はそれは当たり前ではなく、とても貴重なことだったり日本特有の文化であったり。グタの町での一ヶ月間の生活の中で得られる発見の連続がとても面白かった。改めて、他国の文化の中に身を置くということの価値を実感した。

学校の授業では、簡単な日本語を練習したり、日本の生活様式の説明を写真やフリップを使って説明したり、折り紙や日本の料理を一緒につくるなど思いつく限りのことに挑戦し、退屈でつまらない授業にならないよう自分なりに工夫してみた。

フィリピンで沢山の人たちに出会って沢山話をした。同じ内容で笑い、泣き、驚き、腹を立てた。国や言葉や育った環境が違っていても、人としての感情は同じだと思った。

この地球上には同じ暖かい血の流れる人間が沢山住んでいて、同じような感情を持ってそれぞれの文化を大切にしながら生きているんだ、ということ強く感じた。その違いはそれぞれの気候風土から生まれる文化の違いだ、と相手を愛しむ心を持てば、乗り越えられない壁では無い。そう考えると世界がぐっと近くなったような気がした。

(この1ヶ月ステイを経験させてもらえて本当に良かったと思う。目を閉じると、フィリピンの生徒達や友達「頑張っ！」と励まし、力をくれているような気がする。)

千村 友輝 (22歳)

18年度、協会はこんなことに取り組みました

15周年記念事業

平成4年（1992年）に設立された国際交流協会も15周年を迎えることができました。

12月23日、長年にわたり協会の活動を支えていただいた会員や、関係者のみなさまに感謝の気持ちを込めて15周年記念事業「シャンソンとディナーの夕べ」を催しました。

児玉たまみさんの美しい歌声に酔いしれた後、会員手作りの世界の料理やパーティー料理を楽しみました。



人に会う旅 part 15

15回目の“人に会う旅”を行いました。
大学生から60代まで15人で5泊6日の日程。
深夜到着の深夜出発という強行軍。
ボデガの養護施設訪問では、完成したサッカーグラウンドでサッカーを楽しみました。
ナブクロッドでは宗教的な行事に参加。
グタの小学校ではマスゲームを子どもたちが披露してくれました。
どこの訪問でも好評だったのは津軽三味線の調べでした。

世界のお惣菜

6月フィリピン料理 黒豆と豆腐入りソテー、野菜春巻き、春雨入りスープ、フルーツサラダ。

10月韓国料理 チャプチェ(雑菜)、オジン・ポクタン、牛肉にこみ、もやしスープ。

2月中国料理 肉包子、モヤシ春雨サラダ。

それぞれの国の楽しいお話を講師の外国の方からうかがいながら、料理を楽しみました。

各々のお国柄が出た盛り沢山のメニュー、おいしく皆笑顔！楽しい交流会となりました。



日本語教室

日本語ひろば岩倉は、第1、第3水曜日、夜7時30分～9時にて岩倉市公民館を会場に外国人への日本語教室を開催しています。

現在、ブラジル、スリランカ、ウガンダなど、5～10名ほどの外国の方が日本語を習いに参加されています。会場は明るい雰囲気です。

しかし、内容を充実し定期的な運営をするには、まだスタッフが不足しています。私たちと一緒に活動していただけるスタッフを募集しています。

マレーシア日本 文化交流の集い

12月2日マレーシアから61名のお客様を迎えました。一行はマレーシア人ダンサーと日本人ファッションモデル、そしてお世話する皆さんでした。

まず希望の家で、ホストファミリーの皆さんと手作りのマレーシア料理を味わいました。

次におまつり広場で岩倉太鼓友の会の皆さんの和太鼓の演奏を楽しみ、そして、マレーシア衣装のファッションショー、マレーシアダンスを披露してもらいました。

夜はそれぞれのホストファミリーに分かれ、日本の生活を楽しんでもらいました。



中学生海外派遣事業

8月に行き先をマレーシアに変更して中学生海外派遣事業を行いました。日本もアジア人としてアジアの人々との交流がますます大切になってくることが予想されます。そうした中、若い人たちにアジアの人と共感を持ってもらいたいというのが変更の理由です。

多民族国家マレーシアではマレー系、中国系、インド系の人と同じ教室でお互いの文化を尊重しながら共存して学んでいました。

温かな人々に囲まれてとても充実した時間を過ごすことができました。

ふれあいまつり

もうおなじみになった国際交流協会の料理ブース。なじみはないけど、ちょっと変わった外国料理が味わえると好評です。

18年度はタイカレーとインドカレー、ブラジル料理のフェイジョアを販売しました。外国のジュースやビール（もちろんサンミゲールも）の販売もしました。

中学生のボランティアやジュニアスタッフも元気に声を出して販売を楽しみました。

今回食べ損ねた人は、今度のふれあいまつりではぜひ、挑戦してみてください。きっと満足しますよ。



広報事業

協会の行事や国際交流に関する話題を提供する広報紙COMを年4回、最新の協会情報をいち早く伝えるリアルタイムを年4回発行しました。

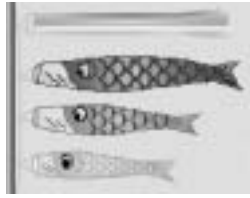
また、ホームページを開設し、最新の情報をより早く、より広く伝えています。http://www.iies.info/

特に、今年は、15周年記念特別号ということでCOM 53号をカラー8ページで作りました。いかがだったでしょうか。

何かご意見等がありましたら、お気軽にご連絡ください。

●参加者募集

ホストファミリー
及びこいのぼりづく
り参加者



と き：平成19年5月26日（土）10時～
27日（日）16時

と ころ：第一児童館および中島屋織店
（のんぼりや、豊国橋の西側）

募集人数：ホストファミリー10家庭
こいのぼりづくり10名程度

参加費用：ホストファミリー 無料
こいのぼりづくり
・会員または外国の方 300円
・非会員 500円

申込締切： 5月13日（日）

そ の 他：(1)第1回ホームステイのゲストは名古屋芸術大学の留学生およびJICA(国際協力事業団)の研修生です。ゲストはホストファミリー宅に一泊し、こいのぼりを作ります。

(2)制作場所の都合上、こいのぼりの制作枚数には限り(ゲスト10枚、他の参加者約10枚)があります。希望者多数の場合には当協会にて調整させていただきます(外国の方・ホストファミリー・初めての方が優先度大)。

申込・問合先：岩倉市国際交流協会
井上 (Tel / Fax)0587-66-3192
中山 (Tel / Fax)0587-66-8573

外国人無料健康相談会を 開催しました

3月25日、特定非営利活動法人外国人医療センターと共同で外国人の為の無料健康相談会を開催しました。

健康や体調に不安を持ちながらも言葉や費用のことが気かりで日ごろ医療機関にかかれない外国人30人が相談に訪れました。胸部レントゲン撮影を始め、血圧測定や検尿などを行ってから医師による相談を受けました。国籍はブラジル、ペルー、フィリピン、インドの4か国でした。通訳を交えながらの相談なので一人ひとりの時間はかかりましたが、実際の医療機関ではなかなか時間をかけて相談することはできないので、この日ばかりはと皆さん熱心に話をしていました。



会員継続手続き及び新規会員募集のご案内

事業は会員の会費と岩倉市国際交流事業補助金で運営されています。会員継続手続きをされていない方は、下記へお振り込みをお願いします。また新規会員も受け付けています。

新規会員の申し込みについては下記申込先、問い合わせ先にご連絡をお願いします。

申 込 先 岩倉市国際交流協会事務局
〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2(内藤方) TEL / FAX(0587)66-7347

会費振込先 いちい信用金庫 愛北営業部 普通預金1016300
口座名 岩倉市国際交流協会 内藤和子

会 費 家族会員 3口 (3,000円)以上
ジュニア会員 1口 (1,000円)以上
団体会員 10口 (10,000円)以上 (1口1,000円です)

問い合わせ先 内藤(0587)66-7347 中山(0587)66-8573 三浦(0586)87-1077
出野(0587)37-2495 堀尾(0568)78-6308

会報 COM第54号 (2007年5月1日) 事務局 〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2(内藤方)
発行 岩倉市国際交流協会 TEL・FAX 0587-66-7347
印刷 大橋印刷 http://www.iies.info/